

おおうちだより
平成30年8月1日

おおうちだより



地区旗

発行/山口市大内地域交流センター(旧公民館)
山口市大内矢田北一丁目10番11号
TEL・FAX/083-927-0473

人口	23,347人	男性	11,214人
世帯	9,942世帯	女性	12,133人

2018年8月合併号

大内地区人権学習推進協議会からのお知らせ

去る6月22日(金)、平成30年度大内地区人権学習推進協議会の総会を開催しました。

平成29年度の事業報告及び決算、平成30年度の事業計画及び予算について幹事、委員の皆様からそれぞれご承認をいただきました。

今年度も「大内地区じんけん学習まちづくり大会」を右記により開催します。是非この機会に「人権」について考えてみませんか。多くの方のご参加をお待ちしています。詳細につきましては、時期が近づきましたら改めてお知らせします。

※問合せ先 大内地域交流センター (TEL083-927-0473)

第25回大内地区じんけん学習まちづくり大会

- ◆日時 11月11日(日) 13:00~15:30(予定)
- ◆場所 大内南小学校
- ◆講師 NPOみらいプラネット 有富 健 氏
- ◆演題 「笑顔あふれる共生社会の実現に向けて」

長年、奇病としてさげすまれてきた人生。闘病の歴史は人並みの人権獲得との闘いでもあった。忍耐と気迫を武器として立ち上がったそんな体験をお話しします。

おおうちだより

平成30年10月15日

2018年10月15日号

～ 予 告 ～

第25回大内地区じんけん学習まちづくり大会
11月11日(日) 13:00～ 大内南小学校体育館

入場無料

大内地区人権学習推進協議会では、「人として共に生きる大内のまちづくり～豊かなじんけんの心をひろげよう～」をテーマとしてじんけん学習まちづくり大会を毎年開催しています。

今年の講演では、『長年、奇病としてさげすまれてきた人生。闘病の歴史は人並みの人権獲得との闘いでもあった。忍耐と気迫を武器として立ち上がったそんな体験』をお話しくださいます。多数の皆さまのご来場をお待ちしております。大会日程は右のとおりです。

13:00 開 会
意見発表 大内小、大内南小、大内中、
山口中央高等学校の児童・生徒

14:00 講 話
『笑顔あふれる共生社会の実現に向けて』
講師 有富 健 氏 (NPOみらいプラネット)
合 唱 大内中学校合唱部

15:30 閉 会
※必ず上履き(体育館シューズ等)又はスリッパを
お持ちください。

会場の駐車スペースが限られております。農業試験場の駐車場をお借りしておりますので、ご活用ください。(会場は大内南小学校です。お間違えのないようお願いいたします。)

おおうちだより

平成30年12月1日

2018年12月1日号

第25回大内地区じんけん学習まちづくり大会

11月11日（日）に第25回大内地区じんけん学習まちづくり大会が大内南小学校体育館で開催され、250人あまりのご参加をいただきました。大会は「大内吹奏楽団あ〜べんと」の演奏で開会し、児童・生徒の意見発表、NPOみらいプラネット理事長 有富 健 氏の講話と続き、大内中学校合唱部の合唱があり、最後は会場全員で「ふるさと」を合唱し、盛会のうちに終わりました。多くの方々のご支援とご協力により、大変有意義な大会となりました。

大内地区人権学習推進協議会

☆地域の子どもたちの意見発表

小・中・高校生のまっすぐな意見に会場の大人も大きな感銘を受けました。

- ◇「ぼくの考える人権」
大内小学校6年生 政岡 優希 さん
- ◇「障がい者と人権」
大内南小学校6年生 恵美須屋 伶茄 さん
- ◇「個性を認め合える社会をめざして～私が今、思うこと」
大内中学校2年生 佐藤 綾音 さん
- ◇「命を大切に」
山口中央高等学校1年生 木本 夢心 さん



意見発表をしてくれた児童・生徒の皆さん



☆講話の概要

演題「笑顔あふれる共生社会の実現に向けて」 講師 NPOみらいプラネット 理事長 有富 健 氏



講師 有富 健 氏

講師の有富さんは、長年、原因不明の体調不良に苦しまれ、学校・職場でたいへん窮屈な思いをされてきました。その中で、周りで支えてくれる仲間に勇気づけられ、今日では、ご自身の病気と闘いながら、難病患者の支援活動に携わっています。講話では、そのような体験に基づいて、お話をされました。

来場者からは、「恵まれている人は思い上がり、優しさを忘れる事があると思います。体験する事はできなくても、この様な講話を聞く事で、相手の身になり、考え、優しさを思い出すきっかけになると思います。お体に気をつけて、続けていただけたらありがたいと思いました。」「物事を知ることの大切さを感じました。あまり知られていない難病、うつ病など、そのことについて、それに苦しんでいる人の気持ちについて知っていれば、きっともっと寄り添える人が増えるのでは、と思いました。」など、多数ご感想をいただきました。

この大会が、真に市民一人ひとりが人権を尊重する、大内のまちづくりに寄与するものになると考えております。

人権と命の尊厳学ぶ 山口・大内 有富健さん講演



山口・大内南小学校で記念講演する
有富健・NPO みらいプラネット理事長

じんけん学習でまちづくり

人権と命の尊厳を学ぶ活動を推進する「第25回大内地区じんけん学習まちづくり大会」がこのほど、山口市立大内南小学校であり、小中高生の意見発表や記念講演があった。

「笑顔あふれる共生社会の実現に向けて」と題してNPOみらいプラネット理事長・有富健さんが講演。約250人が耳を傾けた。

としながら約10年間入院を繰り返し平成22年、ようやく血管奇形と診断された。これまで様々な無理解、偏見、差別に遭い辛い思いをしたことを吐露。今の医学では治らない難病で自己管理のもとで小康状態を保っていると現状を話した。

また、有富さんの著書「負けるものか」を原作に、東京大学映画制作部スピカが制作した啓発ド

ラマ「咲き誇れ、強く」のDVDを会場で視聴。個性や立場を尊重し、仲間とつながることなど、日頃の地域教育の大切さを学ぶんだ。

※難治性血管奇形 全身に発症し疼痛、発熱、感染、出血、醜状変形、気道閉塞、嚔下・発声障害、歩行障害、脊柱測弯症、骨折などが主な症状。血管奇形には、静脈奇形、毛細管奇形などの混合型

である混合型血管奇形があり、これらを「難治性血管奇形」という。血管腫や他の病気と混同されたり、原因不明の痛みや腫れに悩まされる。増悪していくような血管腫などの病気を持つ人や周りに心当たりのある人などはぜひ一報をこしている。特定非営利活動法人みらいプラネット(090・7970・1121)Eメール info@y-rvn-support.org

有富さんは、血管がもつれ体に痛みなど様々な症状が出る自分の「血管奇形」という原因不明の難病について、庭に水を撒くホースを血管にたとえホースがよじれて水が流れない状態と説明。人の血管の長さは地球1周半ほどあり、痛みがある部位に原因があるとは限らず、発見がとてもしづらい病気を話した。有富さんは病院を転々

鴻輝新報「雄飛」
平成30年12月20日